

■伊東深水 浮世絵師、日本画家、版画家。歌川派浮世絵の正統を継ぎ、日本画独特の表現による美人画が有名。

いとうしんすい

子規句歌革新1898＝ 東京府東京市深川区深川西森下町で生まれる。本名一。

日露戦争終・1905＝7歳：深川尋常小学校に入学。同級生に友人となった関根正二がいた。

韓国反日暴動1907＝9歳：家計を助けるため、小学校3年で中退し、看板屋に奉公し住み込みで働く。

アヲヲ創刊・1908＝10歳：紹介されて、深川区深川の東京印刷株式会社の図案部研究生になる。

大逆事件判決1911＝13歳：その紹介で、**鑑木清方へ入門**。「深水」の号を与えられ、夜間学校で苦学しながら**精進**、**明治天皇没**・1912＝14歳：第12回**巽画会展**に「のどか」が初入選。  
大正政変・1913＝15歳：**巽画会1等褒状**。  
第一次大戦始1914＝16歳：**\*再興第1回院展に「棧敷の女」が入選、画家として立つことを決意し、東京印刷を退社。**  
21ヶ条要求・1915＝17歳：第9回**文展**に「十六の女」が初入選。  
民本主義・1916＝18歳：(東京日日新聞)などに挿絵を描く一方、**渡邊庄三郎による新版画運動に参加、渡邊版画店から第1作「対鏡」を発表、続いて「遊女」「明石の曙」を発表。**  
本格政党内閣1918＝20歳：さらに「近江八景」を発表して、川瀬巴水に影響を与える。  
ベルリン条約・1919＝21歳：好子と結婚、  
大暴落・1920＝22歳：長男が誕生。  
原敬首相暗殺1921＝23歳：次男満が誕生(のち日本画家伊東万権)、  
水平社結成・1922＝24歳：**\*妻をモデルに描いた「指」が平和記念東京博覧会で2等銀牌。一気に人気を高めた記念碑的作品となる。**

護憲三派圧勝1924＝26歳：「湯気」。**以後も、妻をモデルに大作を数多く発表し、「美人画」作家として評価を高めるが、治安維持法・1925＝27歳：**

金融恐慌・1927＝29歳：「羽子の音」。大井町に**深水面塾**を設立。

世界恐慌・1929＝31歳：屏風絵「潮干狩り」、「秋晴れ」、**「美人画」以外の画題を描きたくとも、それ以外の注文が来ず、困惑していたともいう。**

満州事変・1931＝33歳：  
五一五事件・1932＝34歳：「暮方」。**人物画の再興を目指し{青々会}を設立。**  
国際連盟脱退1933＝35歳：「宵」、  
帝人疑獄事件1934＝36歳：  
芥川直木賞始1935＝37歳：料亭{勝田}の女将勝田麻起子との間に雪会(後の女優・タレント・歌手の朝丘雪路)をもうける。

日中戦争始・1937＝39歳：麻起子との間に慎一が誕生(のち日本画家勝田深水)、

第二次大戦始1939＝41歳：屏風絵「桜花図」、

日米開戦・1941＝43歳：麻起子との間に祥三が誕生。

創価学会検挙1943＝45歳：召集され海軍報道班員として南方諸島へ派遣、外地で4000枚ものスケッチをする。

敗戦・1945＝47歳：長野県小諸市に疎開。  
新憲法公布・1946＝48歳：**戦後は、「銀河祭」を皮切りに、個人的に独自の題材で日本画を制作することが多くなるが、戦前からの美人画人気のあまり、多くの作品が複製版画として頒布されるようになった。**

新憲法施行・1947＝49歳：「吹雪」、  
極東裁判決・1948＝50歳：「信濃路風景」。**「鏡」で第4回日本芸術院賞受賞。**  
三大事件・1949＝51歳：鎌倉に転居。屏風絵「髪」、  
朝鮮戦争始・1950＝52歳：絹本着色「聞香」。**白鳥映雪、児玉希望、奥田元宋、佐藤太清等と{日月社}を結成、後進の育成にあたる。**  
独立回復・1951＝53歳：絹本着色「清方先生像」、  
マーチン事件・1952＝54歳：  
自衛隊発足・1954＝56歳：屏風絵「春宵(東おどり)」、

インストレーメン・1958＝60歳：**\*日本芸術院会員に推挙される。**

安保闘争・1960＝62歳：  
タイタイ病始・1961＝63歳：

いざなぎ景気1966＝68歳：「吉野太夫」、

大阪万博・1970＝72歳：

日中国交回復1972＝74歳：**癌により没した。**  
代表作はほかに、「伊達巻の女」「口紅」「雪の女」「丸髻」「社頭の雪」、絹本着色「姿見」、紙本着色「大島婦女図」「月夜図」など。歌川国芳から月岡芳年・水野年方・鑑木清方・伊東深水と続く流れを「玄治店派」という。門人は、岩田専太郎ほか多数。

インターネットWikipedia, 高木凛「最後の版元」,